

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	精神医療センター太宰府病院	2
北九州市	門司病院	3
北九州市	医療センター	4
北九州市	八幡病院	5
福岡市	福岡市立こども病院	6
福岡市	福岡市民病院	7
大牟田市	総合病院	8
飯塚市	飯塚市立病院	9
田川市	市立病院	10
筑後市	市立病院	11
中間市	市立病院	12
芦屋町	芦屋中央病院	13
小竹町	小竹町立病院	14
鞍手町	地方独立行政法人くらて病院	15
糸田町	緑ヶ丘病院	16
川崎町	町立病院	17
公立八女総合病院企業団	公立八女総合病院	18
公立八女総合病院企業団	みどりの杜病院	19

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福岡県	
市町村・組合名					
病院名 精神医療センター太宰府病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,831 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	76.2	80.9	83.8
感染症	-	-	-	-
計	300	76.2	80.9	83.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,135,214	
決算規模(千円)	2,018,160,695	
標準財政規模(千円)	950,798,240	
財政力指数	0.65820	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	262.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.9
修正医業収益(千円)	2,145,494

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,582,060			
1 経常収益	2,579,025			
(1) 医業収益	2,146,691			
入院収益	1,717,792			
外来収益	303,088			
診療収入計	2,020,880			
その他医業収益	125,811			
(うち他会計負担金)	1,197			
(2) 医業外収益	432,334			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	350,048			
(うち長期前受金戻入)	81,021			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,035			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,359,576			
2 経常費用	2,356,341			
(1) 医業費用	2,259,901			
職員給与費	14,221	0.7	62.1	104.8
材料費	-	-	25.3	8.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	1.3
減価償却費	147,262	6.9	9.5	13.5
経費	2,090,828	97.4	22.7	33.3
(うち委託料)	104,890	4.9	12.6	18.6
研究研修費	-			
資産減耗費	7,170			
(2) 医業外費用	96,440			
(うち支払利息)	73,377	3.4	1.3	2.7
(3) 特別損失	3,235			
損益				
経常損益	222,684			
純損益	222,484			
累積欠損金	1,307,052			
経常収支比率	109.5		101.9	101.4
医業収支比率	95.0		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	94.5		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,011,329
1 固定資産	3,446,014
(1) 有形固定資産	3,445,169
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,565,315
(1) 現金及び預金	885,301
(2) 未収金及び未収収益	721,521
(3) 貸倒引当金()	42,507
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,202,845
1 固定負債	3,203,940
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,183,708
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,232
(7) リース債務	-
2 流動負債	536,227
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	385,533
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,464
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	147,096
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	462,678
(1) 長期前受金	2,290,439
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,827,761
資本合計	808,484
1 資本金	1,198,746
2 剰余金	-390,262
(1) 資本金剰余金	916,790
(2) 利益剰余金	-1,307,052
負債・資本合計	5,011,329
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	351,245	351,245
資本勘定繰入	239,959	239,959
計	591,204	591,204

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福岡県	
市町村・組合名	北九州市				
病院名	門司病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,196 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	92.6	96.8	91.6
療養	50	97.3	98.1	95.1
結核	55	34.4	35.0	42.5
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	73.5	75.3	75.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	27.2	27.2

設立団体の状況		
人口(人)	939,029	
決算規模(千円)	677,136,765	
標準財政規模(千円)	283,149,895	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	161.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	282,581			
1 経常収益	282,581			
(1) 医業収益	2,139			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	2,139			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	280,442			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	247,881			
(うち長期前受金戻入)	2,513			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	426,789			
2 経常費用	411,272			
(1) 医業費用	345,849			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	152,460	7127.6	9.5	10.7
経費	188,214	8799.2	22.7	29.2
(うち委託料)	11,240	525.5	12.6	13.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	5,175	-		
(2) 医業外費用	65,423			
(うち支払利息)	47,152	2204.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	15,517			
損益				
経常損益	-128,691			
純損益	-144,208			
累積欠損金	11,669,981			
経常収支比率	68.7		101.9	100.3
医業収支比率	0.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	87.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11588.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	87.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	8.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,645,834
1 固定資産	2,561,679
(1) 有形固定資産	2,557,815
(2) 無形固定資産	557
(3) 投資その他の資産	3,307
2 流動資産	84,155
(1) 現金及び預金	72,299
(2) 未収金及び未収収益	11,856
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,782,672
1 固定負債	3,396,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,396,357
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	344,021
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	312,415
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,714
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	42,294
(1) 長期前受金	258,765
(2) 長期前受金収益化累計額()	216,471
資本合計	-1,136,838
1 資本金	10,453,410
2 剰余金	-11,590,248
(1) 資本金剰余金	79,733
(2) 利益剰余金	-11,669,981
負債・資本合計	2,645,834
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,136,838
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,094,544
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.6
修正医業収益(千円)	2,139

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,435	247,881
資本勘定繰入	205,753	308,630
計	427,188	556,511

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	545581.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	北九州市		
病院名	医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	67.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	939,029	
決算規模(千円)	677,136,765	
標準財政規模(千円)	283,149,895	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	161.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	52,464			
1 経常収益	52,464			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	52,464			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	52,464			
2 経常費用	52,464			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	52,464			
(うち支払利息)	52,464	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	545581.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	北九州市		
病院名	八幡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	68.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	68.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	939,029	
決算規模(千円)	677,136,765	
標準財政規模(千円)	283,149,895	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	161.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	79,796			
1 経常収益	79,796			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	79,796			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	79,796			
2 経常費用	79,796			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	79,796			
(うち支払利息)	79,796	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	545581.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	福岡市		
病院名	福岡市立こども病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,612,392	
決算規模(千円)	1,247,829,435	
標準財政規模(千円)	427,491,897	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	107.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	68,514			
1 経常収益	68,514			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	68,514			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	68,514			
2 経常費用	68,514			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	68,514			
(うち支払利息)	68,514	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	福岡市		
病院名	福岡市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,612,392	
決算規模(千円)	1,247,829,435	
標準財政規模(千円)	427,491,897	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	107.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,850			
1 経常収益	8,850			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	8,850			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,850			
2 経常費用	8,850			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,850			
(うち支払利息)	8,850	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	大牟田市		
病院名	総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	111,281	
決算規模(千円)	69,105,656	
標準財政規模(千円)	27,806,819	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	29.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	109,777			
1 経常収益	109,777			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	109,777			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	109,777			
2 経常費用	109,777			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	109,777			
(うち支払利息)	109,777	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福岡県	
市町村・組合名	飯塚市				
病院名	飯塚市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,311 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	67.6	70.7	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	67.6	70.7	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.3	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	126,364	
決算規模(千円)	89,461,887	
標準財政規模(千円)	33,070,027	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	12.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	474,992			
1 経常収益	474,992			
(1) 医業収益	224,241			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	224,241			
(うち他会計負担金)	224,241			
(2) 医業外収益	250,751			
(うち国・都道府県補助金)	7,085			
(うち他会計補助・負担金)	20,472			
(うち長期前受金戻入)	192,427			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	517,872			
2 経常費用	517,872			
(1) 医業費用	458,788			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	234,547	104.6	9.5	10.2
経費	224,241	100.0	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	59,084			
(うち支払利息)	28,896	12.9	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-42,880			
純損益	-42,880			
累積欠損金	883,629			
経常収支比率	91.7		101.9	99.9
医業収支比率	48.9		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	51.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	109.1		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	51.5		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	44.5		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,908,803
1 固定資産	3,888,655
(1) 有形固定資産	3,888,405
(2) 無形固定資産	250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	20,148
(1) 現金及び預金	16,261
(2) 未収金及び未収収益	3,887
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,314,408
1 固定負債	3,085,386
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,085,386
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	176,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160,939
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	848
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,354
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	52,501
(1) 長期前受金	879,382
(2) 長期前受金収益化累計額()	826,881
資本合計	594,395
1 資本金	1,330,163
2 剰余金	-735,768
(1) 資本金剰余金	147,861
(2) 利益剰余金	-883,629
負債・資本合計	3,908,803
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	230,717	244,713
資本勘定繰入	76,572	79,186
計	307,289	323,899

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	394.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福岡県	
市町村・組合名	田川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,810 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	334	44.7	54.8	57.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	95.1	-	-
計	342	45.9	53.5	56.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	14.2	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	46,203	
決算規模(千円)	35,196,653	
標準財政規模(千円)	13,214,017	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	102.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,418,158			
1 経常収益	6,239,124			
(1) 医業収益	4,392,174			
入院収益	2,662,972			
外来収益	1,500,363			
診療収入計	4,163,335			
その他医業収益	228,839			
(うち他会計負担金)	121,697			
(2) 医業外収益	1,846,950			
(うち国・都道府県補助金)	1,247,712			
(うち他会計補助・負担金)	372,810			
(うち長期前受金戻入)	182,294			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	179,034			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,866,096			
2 経常費用	5,633,221			
(1) 医業費用	5,377,225			
職員給与費	2,996,259	68.2	62.1	63.5
材料費	853,526	19.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	409,590	9.3	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	443,936	10.1	11.4	11.8
減価償却費	251,829	5.7	9.5	10.0
経費	1,247,776	28.4	22.7	21.7
(うち委託料)	632,249	14.4	12.6	12.2
研究研修費	10,350			
資産減耗費	17,485			
(2) 医業外費用	255,996			
(うち支払利息)	73,439	1.7	1.3	1.4
(3) 特別損失	232,875			
損益				
経常損益	605,903			
純損益	552,062			
累積欠損金	187,669			
経常収支比率	110.8		101.9	101.7
医業収支比率	81.7		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	102.0		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,991,945
1 固定資産	5,075,052
(1) 有形固定資産	5,075,052
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,916,893
(1) 現金及び預金	1,077,221
(2) 未収金及び未収収益	815,309
(3) 貸倒引当金()	6,507
(4) 貯蔵品	29,800
3 繰延資産	-
負債合計	6,913,246
1 固定負債	5,176,052
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,045,788
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,130,264
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,414,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	712,748
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	188,962
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	491,837
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	322,388
(1) 長期前受金	7,027,288
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,704,900
資本合計	78,699
1 資本金	248,911
2 剰余金	-170,212
(1) 資本金剰余金	17,457
(2) 利益剰余金	-187,669
負債・資本合計	6,991,945
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収益(千円)	4,270,477

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	494,507	494,507
資本勘定繰入	436,646	436,646
計	931,153	931,153

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	筑後市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	48,827	
決算規模(千円)	25,076,172	
標準財政規模(千円)	10,689,775	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	30.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	45,082			
1 経常収益	45,082			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	45,082			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	45,082			
2 経常費用	45,082			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	45,082			
(うち支払利息)	45,082	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福岡県	
市町村・組合名	中間市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,302 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	122	31.6	42.2	44.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	31.6	42.2	44.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	20.8	20.2

設立団体の状況		
人口(人)	40,362	
決算規模(千円)	24,387,313	
標準財政規模(千円)	9,789,683	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	45.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.5
修正医業収益(千円)	1,415,369

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,362,125			
1 経常収益	1,657,740			
(1) 医業収益	1,465,342			
入院収益	496,156			
外来収益	884,272			
診療収入計	1,380,428			
その他医業収益	84,914			
(うち他会計負担金)	49,973			
(2) 医業外収益	192,398			
(うち国・都道府県補助金)	74,768			
(うち他会計補助・負担金)	65,886			
(うち長期前受金戻入)	45,989			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	704,385			
(うち他会計繰入金)	700,000			
総費用	1,795,966			
2 経常費用	1,790,461			
(1) 医業費用	1,715,770			
職員給与費	974,254	66.5	62.1	67.4
材料費	442,913	30.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	377,360	25.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,787	3.8	11.4	8.8
減価償却費	65,480	4.5	9.5	10.7
経費	232,232	15.8	22.7	29.2
(うち委託料)	132,796	9.1	12.6	13.9
研究研修費	891			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	74,691			
(うち支払利息)	10,166	0.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	5,505			
損益				
経常損益	-132,721			
純損益	566,159			
累積欠損金	12,328			
経常収支比率	92.6		101.9	100.3
医業収支比率	85.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	34.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	86.1		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	800,423
1 固定資産	500,742
(1) 有形固定資産	500,051
(2) 無形固定資産	691
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	299,681
(1) 現金及び預金	149,848
(2) 未収金及び未収収益	146,409
(3) 貸倒引当金()	1,140
(4) 貯蔵品	3,964
3 繰延資産	-
負債合計	633,868
1 固定負債	302,314
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	302,314
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	134,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,859
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,704
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	197,391
(1) 長期前受金	1,743,923
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,546,532
資本合計	166,555
1 資本金	94,571
2 剰余金	71,984
(1) 資本金剰余金	82,812
(2) 利益剰余金	-10,828
負債・資本合計	800,423
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	115,859	815,859
資本勘定繰入	54,141	54,141
計	170,000	870,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	275,412	16.3
平成30年度	133,156	7.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	芦屋町		
病院名	芦屋中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	13,545	
決算規模(千円)	11,095,066	
標準財政規模(千円)	4,030,672	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	3,334			
1 経常収益	3,334			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,334			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,334			
2 経常費用	3,334			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	3,334			
(うち支払利息)	3,334	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				福岡県
市町村・組合名	小竹町			
病院名	小竹町立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	2,759 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業	許可	看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	56	30.4	49.4	60.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	30.4	49.4	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	14.3	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	7,151	
決算規模(千円)	5,461,125	
標準財政規模(千円)	2,794,186	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	100.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	426,861			
1 経常収益	418,860			
(1) 医業収益	375,683			
入院収益	153,995			
外来収益	104,711			
診療収入計	258,706			
その他医業収益	116,977			
(うち他会計負担金)	62,154			
(2) 医業外収益	43,177			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	35,186			
(うち長期前受金戻入)	7,493			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,001			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	571,525			
2 経常費用	560,824			
(1) 医業費用	540,797			
職員給与費	399,724	106.4	62.1	78.9
材料費	32,244	8.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	6,358	1.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,387	5.7	11.4	6.0
減価償却費	16,502	4.4	9.5	11.7
経費	91,632	24.4	22.7	31.2
(うち委託料)	31,760	8.5	12.6	14.3
研究研修費	519			
資産減耗費	176			
(2) 医業外費用	20,027			
(うち支払利息)	1,385	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	10,701			
損益				
経常損益	-141,964			
純損益	-144,664			
累積欠損金	378,537			
経常収支比率	74.7		101.9	100.3
医業収支比率	69.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	22.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	57.3		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	550,012
1 固定資産	314,889
(1) 有形固定資産	314,737
(2) 無形固定資産	152
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	235,123
(1) 現金及び預金	146,329
(2) 未収金及び未収収益	87,036
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,447
3 繰延資産	-
負債合計	872,002
1 固定負債	352,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,012
(2) その他の企業債	88,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	100,000
(6) 引当金	139,343
(7) リース債務	-
2 流動負債	339,822
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,873
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	11,305
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	23,617
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	180,125
(1) 長期前受金	345,429
(2) 長期前受金収益化累計額()	165,304
資本合計	-321,990
1 資本金	53,633
2 剰余金	-375,623
(1) 資本金剰余金	2,914
(2) 利益剰余金	-378,537
負債・資本合計	550,012
不良債務	99,826
実質資金不足額	99,826
資金不足額()	321,990
資本不足額(繰延収益控除後)()	141,865
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.0
修正医業収益(千円)	313,529

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	104,058	97,340
資本勘定繰入	1,363	2,660
計	105,421	100,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	99,826	26.6
令和元年度	79,875	18.0
平成30年度	148,212	30.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.8
健全化法上の資金不足額(千円)	99,826
健全化法上の資金不足比率(%)	26.5
地財法上の資金不足額(千円)	188,526
地財法上の資金不足比率(%)	50.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福岡県	
市町村・組合名	鞍手町				
病院名	地方独立行政法人くらて病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	15,080	
決算規模(千円)	12,076,632	
標準財政規模(千円)	4,761,442	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,916			
1 経常収益	6,916			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,916			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,916			
2 経常費用	6,916			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,916			
(うち支払利息)	6,916	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				福岡県
市町村・組合名	糸田町			
病院名	緑ヶ丘病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	3,798 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業	許可	看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	54	61.4	65.3	71.3
療養	45	57.6	56.4	68.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	59.7	61.3	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		27.3	25.7	24.3

設立団体の状況		
人口(人)	8,407	
決算規模(千円)	6,544,019	
標準財政規模(千円)	2,821,961	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.5
修正医業収益(千円)	564,904

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	743,264			
1 経常収益	738,514			
(1) 医業収益	606,078			
入院収益	403,107			
外来収益	132,811			
診療収入計	535,918			
その他医業収益	70,160			
(うち他会計負担金)	41,174			
(2) 医業外収益	132,436			
(うち国・都道府県補助金)	5,326			
(うち他会計補助・負担金)	98,826			
(うち長期前受金戻入)	7,532			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,750			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	755,051			
2 経常費用	750,301			
(1) 医業費用	748,393			
職員給与費	447,620	73.9	62.1	78.9
材料費	87,849	14.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	51,393	8.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,871	4.4	11.4	6.0
減価償却費	16,731	2.8	9.5	11.7
経費	195,333	32.2	22.7	31.2
(うち委託料)	113,546	18.7	12.6	14.3
研究研修費	678			
資産減耗費	182			
(2) 医業外費用	1,908			
(うち支払利息)	673	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	4,750			
損益				
経常損益	-11,787			
純損益	-11,787			
累積欠損金	401,954			
経常収支比率	98.4		101.9	100.3
医業収支比率	81.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	79.8		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	734,823
1 固定資産	257,415
(1) 有形固定資産	256,832
(2) 無形固定資産	583
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	477,408
(1) 現金及び預金	24,139
(2) 未収金及び未収収益	447,945
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,324
3 繰延資産	-
負債合計	778,401
1 固定負債	290,512
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,437
(2) その他の企業債	130,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	150,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,075
2 流動負債	421,674
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,311
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	25,000
(5) 引当金	28,122
(6) リース債務	1,364
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	65,877
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	66,215
(1) 長期前受金	237,849
(2) 長期前受金収益化累計額()	171,634
資本合計	-43,578
1 資本金	-
2 剰余金	-43,578
(1) 資本金剰余金	358,376
(2) 利益剰余金	-401,954
負債・資本合計	734,823
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	43,578
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,000	140,000
資本勘定繰入	1,033	1,033
計	141,033	141,033

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	22,547	3.6
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	72,955
地財法上の資金不足比率(%)	12.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	川崎町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	15,176	
決算規模(千円)	12,523,221	
標準財政規模(千円)	5,021,476	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	62.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,214			
1 経常収益	12,214			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,214			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,214			
2 経常費用	12,214			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	-	-	9.5	11.7
経費	-	-	22.7	31.2
(うち委託料)	-	-	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,214			
(うち支払利息)	12,214		1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福岡県	
市町村・組合名	公立八女総合病院企業団				
病院名	公立八女総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,148 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	65.2	90.3	91.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	65.2	90.3	91.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	16.3	15.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収益(千円)	5,648,961

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,526,927			
1 経常収益	7,368,745			
(1) 医業収益	5,712,407			
入院収益	3,648,169			
外来収益	1,942,579			
診療収入計	5,590,748			
その他医業収益	121,659			
(うち他会計負担金)	63,446			
(2) 医業外収益	1,656,338			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	261,188			
(うち長期前受金戻入)	6,110			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	158,182			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,040,437			
2 経常費用	7,882,255			
(1) 医業費用	7,116,710			
職員給与費	3,908,679	68.4	62.1	63.5
材料費	1,375,898	24.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	858,162	15.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	462,653	8.1	11.4	11.8
減価償却費	431,972	7.6	9.5	10.0
経費	1,393,165	24.4	22.7	21.7
(うち委託料)	1,080,916	18.9	12.6	12.2
研究研修費	6,020			
資産減耗費	976			
(2) 医業外費用	765,545			
(うち支払利息)	57,660	1.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	158,182			
損益				
経常損益	-513,510			
純損益	-513,510			
累積欠損金	276,160			
経常収支比率	93.5		101.9	101.7
医業収支比率	80.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	89.4		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,181,831
1 固定資産	7,651,654
(1) 有形固定資産	7,651,654
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,530,177
(1) 現金及び預金	4,175,462
(2) 未収金及び未収収益	1,143,928
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	108,344
3 繰延資産	-
負債合計	5,556,458
1 固定負債	3,789,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,259,808
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,524,992
(7) リース債務	5,187
2 流動負債	1,474,242
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	617,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	157,619
(6) リース債務	2,018
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	563,819
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	292,229
(1) 長期前受金	552,692
(2) 長期前受金収益化累計額()	260,463
資本合計	7,625,373
1 資本金	7,391,037
2 剰余金	234,336
(1) 資本金剰余金	374,886
(2) 利益剰余金	-140,550
負債・資本合計	13,181,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	322,130	324,634
資本勘定繰入	358,517	309,051
計	680,647	633,685

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福岡県	
市町村・組合名	公立八女総合病院企業団		
病院名	みどりの杜病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,418 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	1	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	82.1	82.7	87.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	82.1	82.7	87.5
平均在院日数(一般病床のみ)		32.9	40.1	40.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.4
修正医業収益(千円)	457,410

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	492,633			
1 経常収益	489,426			
(1) 医業収益	457,410			
入院収益	408,204			
外来収益	38,301			
診療収入計	446,505			
その他医業収益	10,905			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	32,016			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	22,481			
(うち長期前受金戻入)	3,123			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,207			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	477,257			
2 経常費用	474,050			
(1) 医業費用	464,826			
職員給与費	327,665	71.6	62.1	89.0
材料費	32,722	7.2	25.3	14.0
(うち薬品費)	19,602	4.3	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,808	1.1	11.4	5.4
減価償却費	22,622	4.9	9.5	13.0
経費	81,749	17.9	22.7	47.1
(うち委託料)	51,826	11.3	12.6	22.5
研究研修費	68			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,224			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	3,207			
損益				
経常損益	15,376			
純損益	15,376			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.2		101.9	98.5
医業収支比率	98.4		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	4.9		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	98.5		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,181,831
1 固定資産	7,651,654
(1) 有形固定資産	7,651,654
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,530,177
(1) 現金及び預金	4,175,462
(2) 未収金及び未収収益	1,143,928
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	108,344
3 繰延資産	-
負債合計	5,556,458
1 固定負債	3,789,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,259,808
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,524,992
(7) リース債務	5,187
2 流動負債	1,474,242
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	617,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	157,619
(6) リース債務	2,018
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	563,819
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	292,229
(1) 長期前受金	552,692
(2) 長期前受金収益化累計額()	260,463
資本合計	7,625,373
1 資本金	7,391,037
2 剰余金	234,336
(1) 資本金剰余金	374,886
(2) 利益剰余金	-140,550
負債・資本合計	13,181,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	23,118	22,481
資本勘定繰入	-	-
計	23,118	22,481

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。